

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (3)

交通安全対策を推進する

基本的な方向性

事故から身を守ることができるよう、交通ルールの遵守や自転車マナーの向上を図り、市民の交通安全意識を高めるとともに、日常の移動手段として多くの人に利用されている自転車の安全な走行環境をつくります。また、誰もが移動の安全と快適性を享受できるよう、バリアフリーを推進します。

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
交通安全教室の開催 数【年間】	件	224	149	168			230
平塚駅 3km 圏の自転 車ネットワーク整備 率【累計】	%	24	39	45			70

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「交通安全対策の推進」

幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や、関係団体と連携した各種交通安全キャンペーン、交通安全動画を YouTube で配信する等により、市民の交通安全意識向上を図りました。また、市内各地域で児童生徒の登校時に交通安全指導等を実施することで、交通事故防止を図りました。

「自転車を利用しやすい環境づくり」

放置自転車等が増える夕方にも警告・指導・撤去を実施するとともに、放置自転車防止キャンペーンを実施しました。

「平塚市自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行帯の整備を行い、自転車走行環境の向上を図りました。

「バリアフリーの推進」

バリアフリーの推進に向けて、平塚市バリアフリー推進協議会を開催し、バリアフリー化に関する情報共有や意見交換を行いました。また、令和2年のバリアフリー法改正を踏まえ、平塚市バリアフリー基本構想を改定しました。

障がい者理解を深めるためのパネル展を障がい者団体や養護学校等と連携し市役所多目的スペースで3回実施しました。また、「心のバリアフリー」ハンドブックを市内各公

共施設に配架するとともに、市内大型商業施設をはじめとした民間事業者等にも配布し、思いやりの心が醸成されるよう働きかけました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「交通安全対策の推進」 市内における交通事故発生件数を減らすため、継続して市民の交通安全意識向上を図る必要があります。</p> <p>「自転車を利用しやすい環境づくり」 歩行者等の安全な通行を妨げる放置自転車等を解消する必要があります。特に、駅周辺では夕方以降に放置自転車等が増加する傾向にあるため、対策が必要です。</p> <p>限られた道路空間において自転車通行帯の整備を行うことから、利用実態や費用対効果等を見極めながら整備形態を選定する必要があります。</p> <p>「バリアフリーの推進」 バリアフリーの着実、かつ、効果的な推進に向けて取り組む必要があります。 心のバリアフリーの考え方を浸透させ、思いやりの心の醸成を推進する必要があります。</p>	<p>「交通安全対策の推進」 市民の交通安全意識向上を図るため、事故件数の増加傾向がみられる高齢者や自転車利用者に対し様々な啓発活動を実施するとともに、各地域における児童生徒を対象とした交通安全指導などを継続します。</p> <p>「自転車を利用しやすい環境づくり」 放置自転車等をなくすため、駐輪場利用の啓発と、夕方の警告・指導・撤去を継続します。また、自転車利用のマナーアップや放置自転車防止のキャンペーンを実施します。</p> <p>自転車の安全な走行環境を向上させるため、平塚市自転車活用推進計画の整備方針に基づき、警察協議や地元調整を踏まえ、設計及び整備を実施します。</p> <p>「バリアフリーの推進」 平塚市バリアフリー基本構想及び、事業計画に掲げた、目標数値達成を目指し、平塚市バリアフリー推進協議会において進捗管理をします。 関係団体等と情報交換を進めながら、パネル展の開催や心のバリアフリーハンドブックの活用を継続していきます。</p>
<p>関連する【取組】と（事業）</p>	
<p>【交通安全対策の推進】（交通安全啓発推進事業）（交通安全対策指導事業） 【自転車を利用しやすい環境づくり】（自転車通行帯整備事業） 【バリアフリーの推進】（バリアフリー促進事業）（社会参加・交流促進事業）</p>	